

過去に提案のあった主なアイデアの事業化検討状況

No	提案概要	県における検討結果（理由）
1	介護未経験者を対象にした介護入門研修の受講費の助成	事業化する
2	介護予防・日常生活支援総合事業の基準を緩和した訪問型サービスに従事するために必要な「一定の研修」の実施	
3	潜在介護福祉士の介護分野への再就業のための復職支援研修	
4	介護未経験または介護にブランクがありスキルに不安をもつ者に対する研修の実施	
5	外国人を日本への日本語留学生として受け入れ、日本語学校で資格を取得した後、介護福祉士養成学校へ入学し、介護福祉士を取得後、事業所に就労	
6	介護施設、介護事業所の現任職員を対象とした講師派遣型研修の実施	
7	介護未経験者を対象とした介護職への就労支援と介護職員初任者研修の実施	県が既に実施している事業と重複する提案
8	中学・高校に学校近隣の介護施設職員が訪問し、介護の仕事について講座	
9	介護施設等の中堅職員を対象に、より良い職場づくりを進めることができるようOJTリーダー養成研修等を実施	
10	認知症ケアや喀痰吸引技術等の介護スキル向上を目的とした研修の実施。	
11	就職フェアの際、介護企業体にとどまらず、広く一般企業体も含めて開催	事業化を見送る。 （他制度による事業あり・基金メニューに該当しない）
12	職員宿舍借上費用の補助、家賃補助	
13	介護職員が院内保育所を利用した際の事業所への助成金制度の創設	
14	ハローワークなどで体験就労を1～3ヵ月を行い本就労へ。体験就労の給与を最低賃金にする場合に差額補助	
15	就職祝い金(奨励金)の支給	